

**心理的情報処理過程を考慮した
遠隔看護コミュニケーションシステム**

**東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
生体機能支援システム学研究室**

背景

- ・ 高齢社会の到来
- ・ 慢性疾患, 生活習慣病の増加
- ・ 在宅療養患者の増加

- ・ コスト, 人数
- ・ 地理条件

制限

補助

- ・ 情報通信技術
- ・ 遠隔医療・看護

患者と医療福祉従事者間のコミュニケーションの緊密化

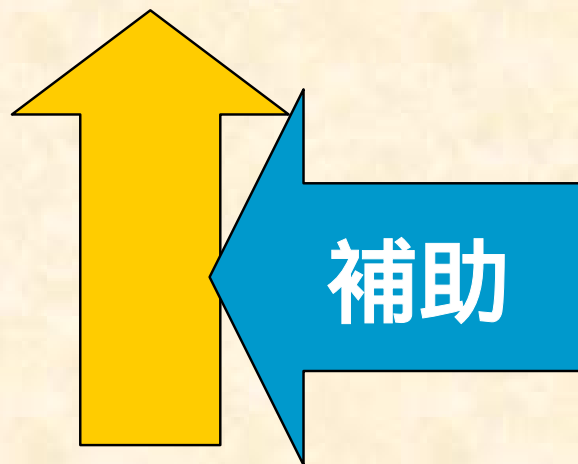
保健師, 看護師の役割増大

看護コミュニケーションと情報通信

看護の目的

健康と病気における適応促進と
個人の最高の健康状態の達成

達成



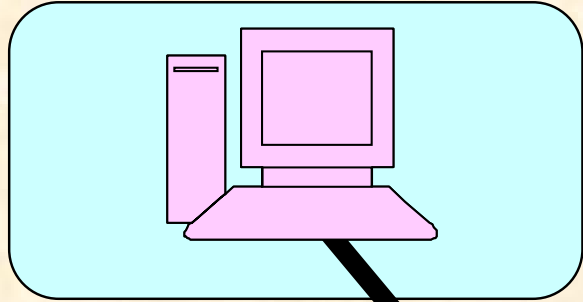
- ・ 情報通信技術
- ・ 遠隔医療・看護

看護コミュニケーション

看護の目的の達成に必要な不可欠なコミュニケーション

遠隔看護 コミュニケーションシステム

利用者
(患者・看護師・医療福祉従事者)

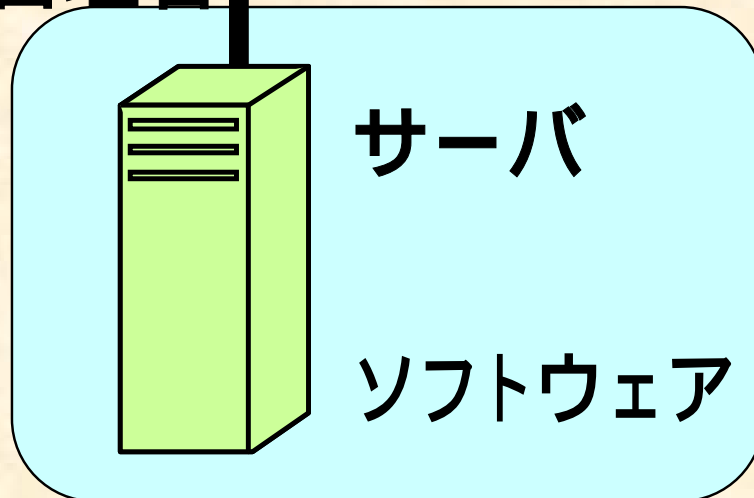


利用者



インターネット

管理者



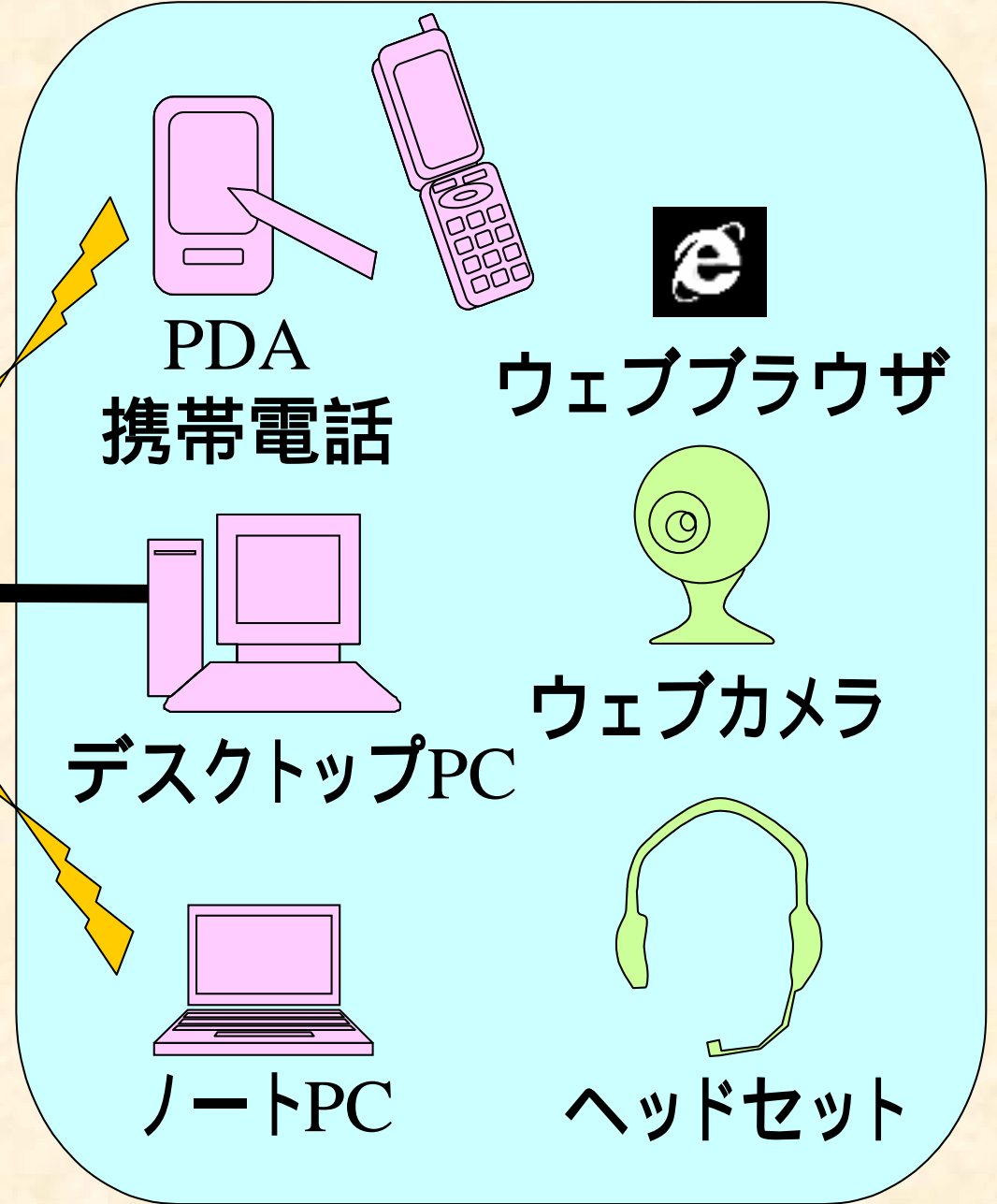
サーバ

ソフトウェア

無線

有線

無線



PDA
携帯電話

ウェブブラウザ

デスクトップPC

ウェブカメラ

ノートPC

ヘッドセット

インストール・特別費用不要

遠隔看護コミュニケーションシステム

- ・ 遠隔対面指導・看護カウンセリング
- ・ 患者の日常データの遠隔収集・共有
- ・ 遠隔カンファレンス・コンサルテーション